

令和2年12月2日

令和2年度 12月例会の開催報告

令和2年度12月例会を12月1日（火）午後2時30分～4時30分 エル・おおさかにて、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応をとりながら、36名の参加者のもと開催しました。

例会は、高橋会長の開会挨拶で始まり、来賓の計量協会 藤田理事長から挨拶をいただき、引き続いて、これまでの活動報告及び今後の活動計画の説明、会員の動静の報告がありました。

講演会では、「水の硬度を利き分ける」をテーマに、一般財団法人関西環境管理技術センター（通称名エマテック）の門口専務理事、柴谷課長、水田係長から、カルシウムやマグネシウムなどの量を炭酸カルシウムの量に換算して数値で表した水の硬度についての講義がありました。講義では、軟水と硬水ができる成因と大阪と東京のダシ文化の違いなど、食・生活への関わりを学びました。

その後、硬度の違いを体感するため「利き水大会」を開催し、硬度60mg/Lと300mg/Lの既知試料水を参考に、硬度①1468mg/L、②172mg/L、③20mg/Lの3種類を試飲して硬度の低い順に並べていただきました。正解については、簡易検査による答え合わせがあり、代表者6名中、2名が正解しました。

また、水以外に、お酒、ウイスキー、コーヒーの試飲もあり、参加者の皆さんが水の硬度の違いを体感されました。

最後に、貴重な体験ができた講習会になりました。エマテックの講師の皆様大変お世話になりました。



高橋会長の挨拶・会務報告



藤田理事長の来賓挨拶



講師の紹介



会場の風景



水の硬度に関する講義



利き水大会の風景



簡易検査による答え合わせ

